様式 C-7-2

自己評価報告書

平成２２年　４月　６日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2010
課題番号：19530003
研究課題名（和文）中世盛期ドイツ封建社会におけるシャテルニー（城主支配領域）の研究

研究課題名（英文）Research of the Castle Dominion in the High Middle Ages of Germany

研究代表者
櫻井　利夫（SAKURAI TOSHIO）
金沢大学・法学系・教授
研究者番号：80170645

研究代表者の専門分野：社会科学
科研費の分科・細目：法学・基礎法学
キーワード：中世盛期,ドイツ封建社会,シャテルニー,城主支配領域

１．研究計画の概要

従来私が進めてきたドイツにおけるシャテルニー（城主支配領域）の研究を発展させて、ドイツの封建制社会第二期（11－13 世紀）をフランスのようにシャテルニー段階として把握しうるのではないかという問題に実証的に決着をつけるために、検討すべき領域をライン河中流域だけでなくドイツ王国の全体にまで拡大し、可能な限り多くの城塞について、その周囲の支配領域・支配権がフランスのシャテルニーと同質的なものであることを解明するものである。

具体的に言えば、ライン河中流域のほかに、その上流域と下流域、ドイツの北東部・南東部・中央部の城塞についても、その周囲の支配領域がシャテルニーであったことを解明することを目指す。

２．研究の進捗状況

2007-2008 年度の研究により 11－13 世紀の封建制社会第二期において、先ず中部ライン河流域の 33 の城塞を取り上げて検討し、これらドイツの城塞周囲の支配領域・支配権は、これを示す用語（dominium,territorium 等）と内実の両側面でフランスのシャテルニーとほぼ対応するものであったことを明らかにした。付随的に、中部ライン河流域以外のドイツにシャテルニーとして把握できる城塞の存在を差当り 50 ほど史料から検出した。また以下の論点をも示すことができた。

(1) ドイツのシャテルニーはライン河流域だけでなく、ドイツ領域の全体に遍く存在した。
(2) シャテルニーはランデスヘルシャフト（領国）の地方行政組織へと発展していった。
(3) シャテルニー形成の起動力は軍制の発展との関連で考察されねばならない。
(4) 城主の荘園支配権をもシャテルニー権力の構成要素と見る必要がある。

以上 2 年間の研究成果は、2008 年度研究成果公開促進費の交付を受け、下記５の〔図書〕として公刊された。

次いで 3 年目の 2009 年度には、以上の研究成果を踏まえ、考察の対象地域を神聖ローマ帝国（これはドイツ、イタリア、ブルグントの 3 つの王国から構成される）に拡大し、フランス型のシャテルニーが一般的に存在したことを、城塞の「付属物」を中心的な視

角としつつ、史料に即して明らかにすることに取り組んだ。検討により、(1)「付属物」は城塞の周囲に位置する所領と支配権的諸権利の統一体、ないし城塞支配権＝支配領域、つまりシャテルニーとして現れること、(2)「城塞を付属物と共に」の記述が史料に無数に現れることが明らかになった。その結果、神聖ローマ帝国にシャテルニーが一般的に存在したとの結論を得ることができた。この成果は、下記５の〔学会発表〕として公表された。

３．現在までの達成度

① 当初の計画以上に進展している。

（理由）

当初ドイツ王国だけについてシャテルニーの一般的な存在を究明することを計画し、これに成功した。しかしフランスのシャテルニーとの本格的な比較のためには、考察の対象をさらに拡大し神聖ローマ帝国全体におけるシャテルニーの一般的な存在を明らかにする必要があったが、上記のように、城塞の「付属物」の問題を考察することにより、思いがけなくこの課題を解決するこことができた。

４．今後の研究の推進方策

神聖ローマ帝国の全体を対象地域として、考察を一層深め自説を確固としたものとするために、フランス型のシャテルニーの存在を用語と実態の両側面から究明し検証すると同時に、城主とその家臣・従属農民との関係、つまりシャテルニー内部の権力構造の分析をも行ってゆく予定である。

５． 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計１件）

1. 櫻井　利夫, 二つの城の物語, 創文 519(2009), 16-19, 査読無

〔学会発表〕（計１件）

1. 櫻井　利夫, 神聖ローマ帝国におけるシャテルニー―「付属物」の視角から―, ヨーロッパ中世史研究会, 2009 年 12 月 5 日, 青山学院大学（東京都）

〔図書〕（計１件）

1. 櫻井　利夫, 創文社, ドイツ封建社会の構造, 2008 年, 総頁 500 頁